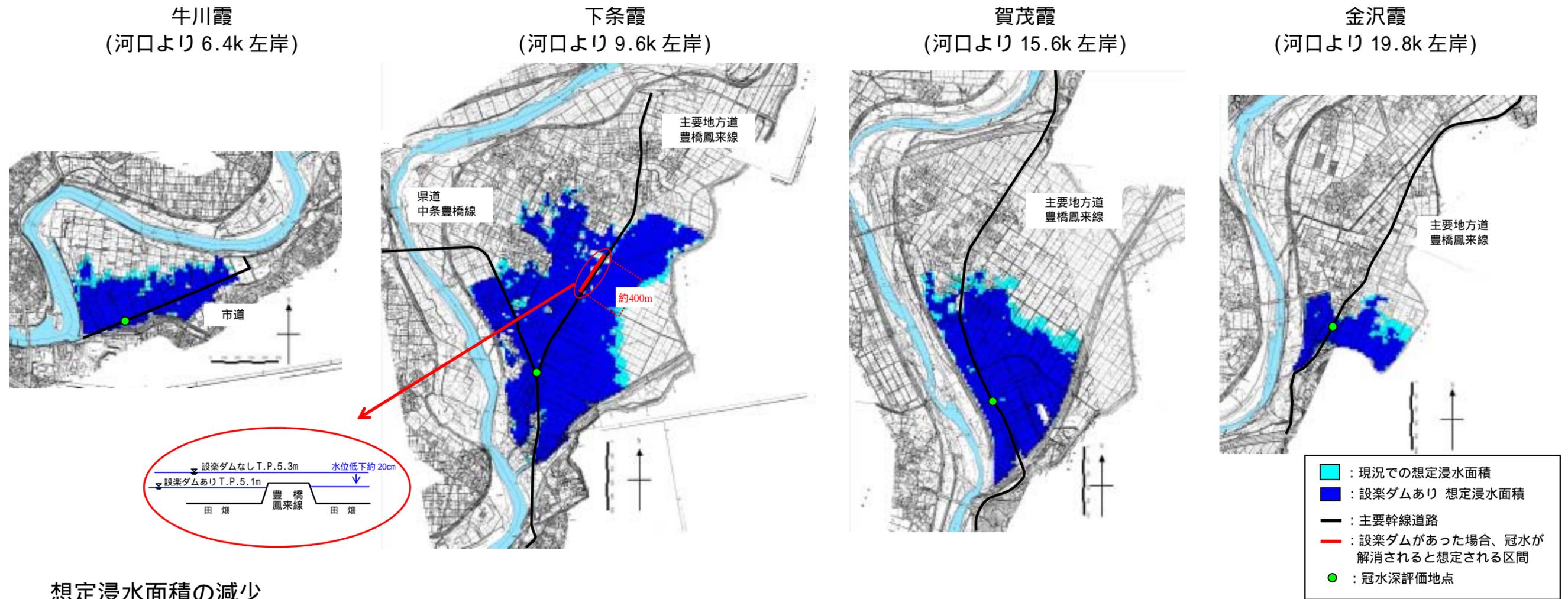


仮に設楽ダムがあった場合、平成15年8月洪水(台風10号)時の霞地区内の想定被害軽減



想定浸水面積の減少

約 7ha の減少
 (想定浸水面積 41ha 34ha)

約 15ha の減少
 (想定浸水面積 146ha 131ha)

約 12ha の減少
 (想定浸水面積 85ha 73ha)

約 5ha の減少
 (想定浸水面積 26ha 21ha)

主要幹線の想定冠水区間と想定冠水深の減少

市道：**約 20cm の冠水深低下**
 (想定冠水深 約 0.9m 約 0.7m)

豊橋鳳来線：**約 400m の冠水区間解消**
 (約 1.7km 約 1.3km)
 豊橋鳳来線：**約 20cm の冠水深低下**
 中条豊橋線：**約 20cm の冠水深低下**
 (想定冠水深 約 0.8m 約 0.6m)

豊橋鳳来線：**約 30cm の冠水深低下**
 (想定冠水深 約 1.7m 約 1.4m)

豊橋鳳来線：**約 40cm の冠水深低下**
 (想定冠水深 約 0.6m 約 0.2m)

想定浸水面積等は、一次元不定流計算により、豊川本川の河道水位及び河道流量を求め、その結果を用いて、浸水シミュレーション計算をした結果です。豊川水系河川整備計画では、設楽ダムの建設に加え、河道改修等の治水対策を行うこととしています。治水対策の進捗に伴い、上記で示した想定浸水面積や冠水深は、さらに減少します。なお、霞地区に係わる治水対策では、牛川霞地区は締め切り、他の下条・賀茂・金沢霞については、小提を設置し、浸水被害の軽減を図ることとしています。